

週報 第3143回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年1月7日)

- **プログラム**
新年会長挨拶 植村 勢彦 会長
- **次週のプロプログラム**
・1月14日:クラブアッセンブリー
各奉仕部門担当理事
・1月21日:卓話担当 白谷 喜彦 会員
・1月28日:新年特別卓話
泉大津市長 南出 賢一 様
- **今後の予定**
・1月21日
・1月28日
- **祝 誕生日**
飯野 信(4日)
丹農 秀知(7日)
- **今月のロータリーソング**
それぞこそロータリー

先週の例会

会長の時間

“メリークリスマス”
まず最初に親睦活動委員会の皆さん、クリスマス家族例会の設営お疲れ様でした。久しぶりに楽しい家族例会で、皆さん喜んでおられました。いよいよ今日で、今年の例会は最後になります。さてこの半年間は、前半はコロナ禍での例会は、どうしたらいいか悩みましたが、過去に中バスト会長の的確な対応と、昨年の白谷直前会長の勇気ある行動を見ていましたので、とても参考になりました。また第5派の時もロータリーには、色々な業種のエキスパートが居られますので、意見を聞きながら進めて参りました。他のクラブは、例会の休会も多くみられましたが、一度も休会することなく来られました。7月~11月の月平均の出席率は、88.5%です。10月は90%、11月は93%です。これも会員一人一人の自覚ある行動のおかげとっております。本当に感謝申し上げます。また普通例会に加え、zoom参加も併設して来しました。毎回の設



植村 勢彦 会長

今月の歌

たき火

垣根の垣根の 曲がり角
たき火だたき火だ 落ち葉たき
あたろうか あたろうよ
北風びいぶう 吹いている

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3143回

営に山本委員長・西端会員の努力のお陰です。本当に有難う御座います。また各委員会も活発に活動して頂いております。大部分で元のロータリーが戻りつつあると思います。さて今年は前半はオリンピックの話題で始まりました。中止するべきだとか、また延期するべきだとか色々な、世論の声が上がっていましたが、開催された後は、良かった感動したが、7割程になっておりました。またパラリンピックの開会式のテーマ【翼】そして閉会式のテーマ【 違いが輝く世界】は、躍動感があってとても感動しました。

またコロナ感染第5派では、大阪府の1日の感染者数が、一瞬3000人近くまで来た時は、一時的に例会を休会にしなければならぬかなと思いましたが、理事にも相談し中先生にもアドバイスをして頂き、1回も休会することなく来られました。この時は流石に緊張しましたが、8月後半には落ち着きを見せていましたので、少し一安心しました。これも菅元総理のワクチン政策のおかげかなと思います。欲を言えばもう2ヶ月早ければ、もっと良かったのにもと思います。秋に差し掛かると、十五夜の満月とか、夕焼け、皆既月食、宇宙旅行ビジネスなどの話題で少し和やかな雰囲気になったように思います。11月、12月になると、総括で政府の無駄遣いの話題などが上がってきました。中小企業や民間企業がコロナ禍で、どれだけの財産・資産が失われたか、計り知れないものがあります。それなのに、2018億円の無駄遣いを会計検査院から指摘されました。アベノマスクの約8200万枚(約115億1千万円)の在庫と、その保管料に約6億円使っています。(民間企業では、有り得ない行いです)そして持続化給付金事業の委託問題で、委託費用は66.9億円ですが、9業者に再々委託や外注を繰り返して、中抜きを繰り返していました。電通のグループ4社・パソナなど、その他564社の下請け業者で、不透明な資金の流れを指摘されています。また使う見込みのない【金地金】(1600億円)、未使用のノートパソコン(1億1千万円)、「全国農地ナビ」のデータ未更新(137億円)等々、まだ色々ありますが、い

い加減にしると言いたいです。

またここにきて、給付金事業でクーポンにするだけで事務経費が、9.67億円かかると言われています。クーポンも一理あると思いますが、少し無駄だと思えます。

今年の漢字一字は【金】でした。4回目ですが、オリンピックの多数の金メダル、大谷翔平の数々の受賞、藤井聡太の最年少四冠達成、多くの【金】字塔が打ち立てられました。また新型コロナウイルス関連の給付「金」なども多く使われました。特に「東京オリンピック・パラリンピックは金メダルラッシュでした。コロナウイルス関連の暗いニュースの中、明るいニュースで多くの感動をもたらした」と言われています、納得です。

そして今日はクリスマスイブです。家族や友人たちと楽しんで下さい。ハッピークリスマス!!

今年の年末はオミクロン株が有りますが、久しぶりに遠方からの帰省や、家族団らんで過ごせそうです。皆さんも楽しみにして居られると思いますが、お正月はお酒の飲みすぎにご注意ください。

最後になりますが、週末から寒波がやって来ます、くれぐれもお体ご自愛ください。そして良いお年をお迎えください。

有難う御座いました。

幹事報告 渡辺 万寿 幹事

- 小林美術館より冬季特別展「日本絵画の200年 江戸から明治へ」のご案内がきております。2割引のはがきを数枚いただいておりますので、ご興味のある方は事務局までお申し出下さい
- 前期本年の例会は、本日をもちまして終了とさせていただきます。31日(金)は休会となります。後期の例会は令和4年1月7日(金)12時30分より新年会長挨拶でスタートさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます

委員会報告

なし

■ ビジター

米山奨学生 林 丞緯 様(岩出RC)

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/24	35名	8名	—	81.40%
12/10	35名	8名	3名	88.37%

■ メークアップ

榎本(12/24 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
瀧谷、寺田(12/3 理事役員会)

■ ニコニコ箱

・会員の皆さん前期、ご協力ありがとうございました。来年も宜しくお願いします。林さん、本日の卓話宜しくお願いします(植村)

・本日は林さん、宜しくお願いします。本年も当クラブにご協力頂きありがとうございました。

来年も宜しくお願い致します。皆様よいお年をお迎え下さい(渡辺)

・林 丞緯様、本日宜しくお願い致します。又、皆様、来年も宜しくお願い致します(西田)

・親睦活動委員会のみなさん、クリスマス家族例会でお世話になりました(原(正))

・リン チェンウェイ様、クリスマスイブの忙しい日に有難うございます(釜野)

・今日は林さん、卓話よろしくお祈りします。早退のおおびです。すみません(今井)

・クリスマス家族例会ありがとうございました。来年もよろしくお祈りします(高寺)

・誕生日祝の御礼(中)

・誕生日お祝い有難うございました(八木(秀))

・欠席のお詫び(原(眞))

・早退のおおび(南出)

ニコニコ箱合計	21,000円
累計	436,000円

先週のプログラム 「私」

米山奨学生 林 丞緯 様 (所属：岩出RC)

ロータリアンの皆様、初めまして、米山記念奨学生の林 丞緯(リン チェンウェイ)と申します。和歌山大学経済学部4年生です。出身地は、台湾の苗栗県の苗栗市です。岩出ロータリークラブ所属で、カウンセラーは芝田豊和さんです。趣味は、音楽を聴いたり、ドラマを観たりすることです。自宅で音楽を聴くのはもちろん、好きなアーティストのコンサートにも時々足を運んでいます。日本のドラマ、半沢直樹やドクターXなども観ています。

次に、私を育ててくれたふるさと台湾の「苗栗県」をご紹介します。苗栗県は台湾の北中部にあります。台湾の地方ですが、この辺りに住んでいる人たちは、客家人と呼ばれる人が多いです。客家人というのは、昔、中国の広東省から台湾に移住して、客家語を喋っている人々を指します。なぜ客家人が台湾の苗栗県の辺りに移住したか、それは苗栗県の地形が広東省と似ているからです。苗栗県

内では山地が全体の約80%を占めて、平野が少ない地形となっています。山や森などがたくさんあって、自然が豊かなところ。もし台湾に行けば、新幹線で苗栗県へ行けます。台湾の地方ですが、交通が不便なところではありません。苗栗県は観光スポットとして知られる県で、いくつかの特色があると思います。自然名勝、歴史建築、果物と客家料理です。苗栗県を紹介します。

・雪霸国家公園という自然名勝

3千メートルぐらい高さの高峰が連なっている。台湾クロクマが生息。

・通宵神社は、1937年に建てられた歴史建築

台湾でも数少ない日本の神社建築。

・古典的かつ現代的な美学を備えた建築、客家大院

客家文化を代表する三合院住宅、鮮やかな白壁と赤レンガの建物。

・和歌山県と同じように果物が盛んで、いちご・梨、ブタナが有名

・客家料理は、台湾他の台湾料理と比べて、独特な

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3143回

料理です。特徴としては、小麦粉を使わず米粉やイモ類の澱粉を使った料理が多いです。昔、稲作を中心に農耕生活をしてきた客家人たちは米とサツマイモが、とても大切な主食です。肉圓や水晶餃、菜包、客家板條などがあります。

次に、来日のきっかけについてお話ししたいと思います。半沢直樹がきっかけで日本の職場文化や金融機関、日本語に興味を持ちました。また、同じ2013年に、日本銀行によって、量的・質的金融緩和政策を導入されました。台湾でもすぐ話題になりました。非伝統的金融政策と言われる「金融緩和政策」など、一体どうしたのでしょうか。そして、なぜ量的・質的金融政策を導入したか。また、非伝統的金融政策と伝統的金融政策の違いは何か、すごく気になり、日本に留学することを決めて経済学を専攻しようと思いました。そこで、2016年10月に来日して、東京にあるJET日本語学校に通いました。1年半ぐらいの日本語を勉強して、大学試験を受けて、2018年4月和歌山大学経済学部に入りました。経済学に関する知識を勉強している同時に、課外活動にも積極的に参加しています。休みの日に、和歌山大学の観光学部主の高野山ツアーに参加して、観光学部の学生たちと一緒に世界遺産の高野山に行きました。台湾には世界遺産はありませんので、世界遺産に行くのは初めてで、私にとって非常に貴重な経験でした。また、料理サークルも参加しています。週に一度、大学の調理室で、日本人の学生さんとお料理をします。日本人にいろんな日本料理を教わり、料理をしながらみんなでおしゃべりできて、みんなが仲良くなります。すごく楽しいサークルです。通常のお料理活動以外にイベントもあります。和歌山大学の学園祭に出店しました。サークルの活動を通じて、日本人と仲良くなって、日本語のコミュニケーション能力もさらに高めたと感じています。また、和歌山大学の留学生による作文コンクールも参加しました。この4年半の留学生活で経験したこと、感じたことをまとめて書きました。特別賞を受賞しました。また、国際交流活動にも積極的に参加しています。去年コロナ禍でも和歌山国際交流協会主催のイベントに参加して、オンラインで日本人の方と交流しました。コロナの影響で交流機会が少なくなって、

ずつとうちで過ぎて、少し寂しいと感じてしまっています。オンラインでいろんな方々と交流できて、ほんとう良かったと思います。

次に、ロータリーとの出会いをお話しします。今年の4月から、米山記念奨学生になりました。月に一度例会に参加しますが、コロナ禍で岩出クラブは5月と6月休会となってしまい、7月に初めての例会に参加しました。岩出クラブの皆さまに暖かい笑顔で迎えられて、ほんとに家族のような感じがします。例会でロータリアンに台湾を紹介し、そして、お互いに台湾と日本のことについて熱く交流しました。日本と台湾の深い繋がりが強く感じていて、日本と台湾の懸け橋のような存在になるために、もっと頑張っていこうと思いました。また、8月下旬に米山委員の紹介でロータリークラブに関わりのある堺市の子ども食堂や子どもたちを応援する活動を行うマリリン家の行うイベントに参加しました。子どもたちと遊んだり、台湾のことを紹介したり、子どもの才芸発表会を見たりして、すごく楽しかったです。また、代表の森さんに「マリリン家」を作るきっかけについての話を聞きました。森さんが「無限の可能性を持った子供達に人間として先輩として次世代に何を残すか各々の特技を發揮する場として提供したいです」と言いました。その話を聞いて森さんはすごく偉い方だと思いました。米山奨学生になって今まで大学や研究などで得られない幅広い分野の人と交流や日本の文化などが体験できました。交流を通して自分のコミュニケーション能力もさらに高められていると感じています。ロータリークラブは、私に奨学金のご支援だけではなく、様々なことも経験させていただいています。奨学生として選ばれて本当に良かったと思っ、ロータリアンの皆さまに誠に感謝しています。

最後に、私の将来の目標や夢についてお話ししたいと思います。日本語を通して台湾と日本の懸け橋になれるような仕事に就きたいと思っています。そして、ロータリーで学んだことを活かして、平和な世界を実現するために、国際ボランティア活動に参加したいと思っています。

以上は、私の卓話でした。ご清聴ありがとうございました。